

VAISALA

Indigo500MIK ヴァイサラ気象観測用設置キット



特長

- Indigo500シリーズ変換器用の屋外設置キット
- 壁面とポールへの取り付けに対応
- オプションに合わせて組み立てた状態で出荷
- DTR502 ラジエーションシールド（オプション）により、温度計測誤差を防止
- DTS1 耐候性シールド（オプション）により、加温プローブ周囲の微気候形成を防止
- SPH10 屋外気圧取り入れ口（オプション）により、風の影響によって生じる気圧変動を排除

Indigo500MIK 気象観測用設置キットを使用することで、ヴァイサラIndigo500シリーズ変換器でプロフェッショナル仕様の屋外環境パラメータ計測を実施できます。このキットは、計測機器の有無にかかわらず、選択したオプションで事前に組み立てられた状態で出荷されます。

クリティカルな気象観測に不可欠

計測機器の屋外設置は、一般的な計測誤差の原因を回避し、長い耐用年数を確保するために適切に行う必要があります。Indigo500MIK 気象観測用設置キットは、厳しい気象条件下でIndigo500シリーズ変換器対応の計測プローブを使用することで、信頼性の高い計測値を取得できるように設計されています。このキットは、湿度および温度プローブのHMP3およびHMP7、温度プローブTMP1の利用を推奨しています。

結露しやすい環境での正確な湿度測定

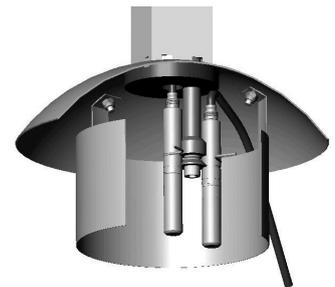
気象観測では、結露が発生すると信頼性の高い湿度計測が難しくなります。湿度センサに結露が生じると、水分が蒸発するまでは正確な計測値を得ることができません。正確な湿度計測値を取得することは、交通安全、空港、海上において特に重要です。たとえば、霧や霜の予測には正確な計測値が不可欠です。

そこで、Indigo500シリーズ変換器をHMP7およびTMP1プローブと組み合わせることで、この問題のソリューションになります。HMP7は、プローブ加温により結露を防止しています。プローブヘッドが加温されると、センサの相対湿度が周辺環境の湿度より低くなるので、HMP7は露点を計測します。そして、TMP1プローブからの正確な温度計測と組み合わせることで、Indigo500変換器が周囲の露点計測から湿度を正確に演算します。

開放型シールドにより微気候の形成を防ぐ

従来型のラジエーションシールドは、みぞれや雪がシールドに蓄積する恐れがあるため、加温プローブでの使用には最適ではありません。この蓄積により適切な空気循環が妨げられ、雪が溶けるまでプローブヘッドの周囲に高湿度微気候が生じる可能性があります。

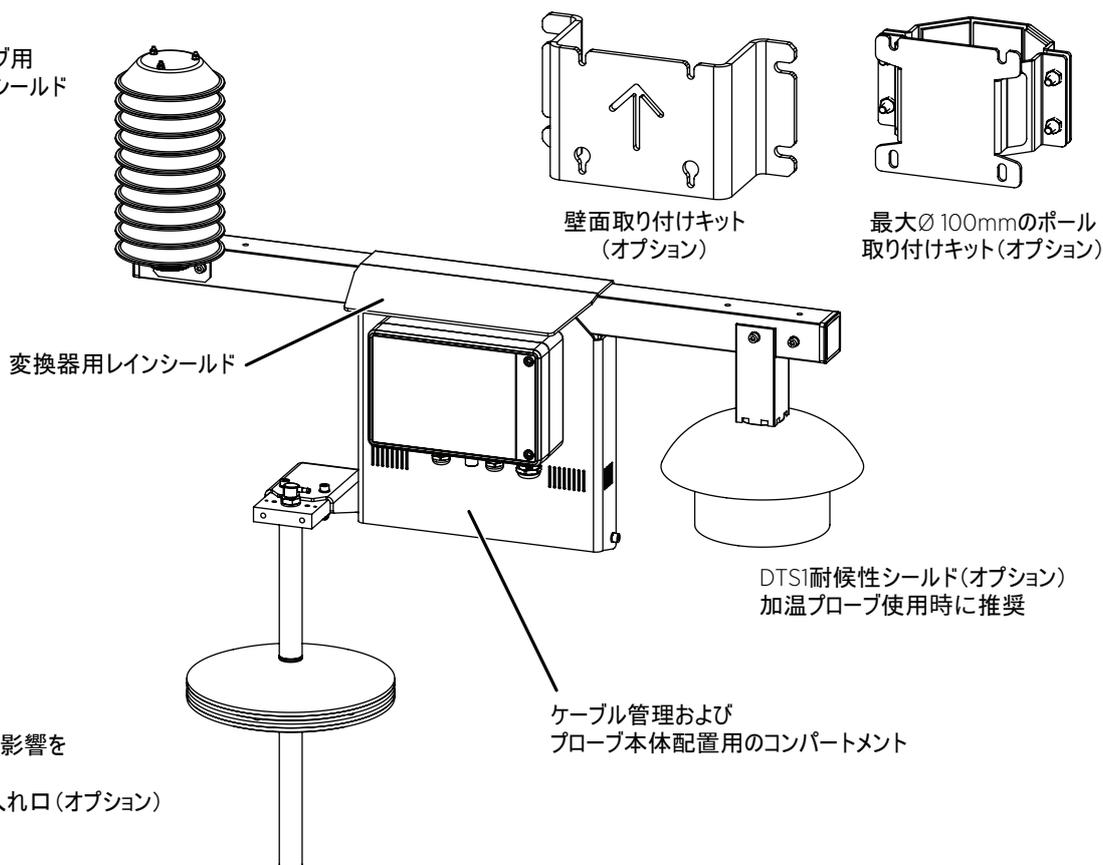
DTS1 耐候性シールドオプションは、微気候の形成を防ぐ適切な保護をHMP7 加温プローブに提供します。このシールドは下部が開いており、無風時にも安定した空気循環を確保します。



現場校正の際は、HMP7プローブヘッドの横に、HMP77 ハンディタイプ基準プローブを簡単に取り付けられます。

技術情報

湿度および温度プローブ用
DTR502ラジエーションシールド
(オプション)

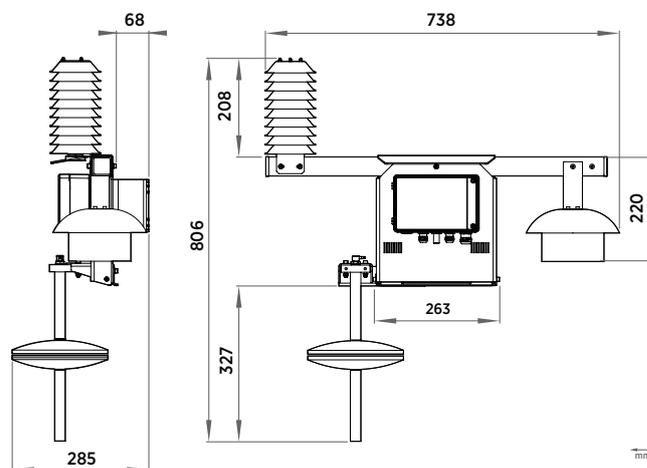


気圧計測における風の影響を
最小限に抑える
SPH10屋外気圧取り入れ口(オプション)

仕様

対応する変換器	Indigo510、Indigo520、 HMT370EX
対応するラジエーションシールド	DTR502、DTR13、DTR250
加熱プローブ用耐候性シールド	DTS1 ¹⁾
屋外気圧取り入れ口	SPH10 ¹⁾
取り付けプレート、 プローブコンパートメント、 サポートバーの重量	1.5kg
取り付けプレート、 プローブコンパートメント、 サポートバーの材質	耐海水性アルマイト

1) 取り付けには、このオプションの取り付けキットを注文するときに含まれているアダプタが必要です。



壁面取り付けキットを含むIndigo500MIKの寸法